

ソニー健康保険組合会第194回組合会報告

2020年度予算、介護保険料率大幅引き上げ 介護保険も事業主の負担割合引上げを！

ソニー労働組合推薦議員 小宮基典 後藤康夫 坂上美穂

2月12日(水)、ソニー健保第194回組合会がソニー本社で開かれました。主要な議題は、保険料率変更の件、2020年度収支予算の件でした。健保の保険料率は1000分の82で据え置かれましたが、介護は収入に応じた「総報酬割」全面導入に伴い、1000分の12から5・8引上げ(1000分の17・8)となりました。将来的にはさらなる引き上げが示唆されており、大企業の健保組合には労使折半から欧州並みに雇用主の負担割合引上げが必要です。

報告事項

- (1) 監事による監査結果報告の件
 - (2) 事業所所在地変更に伴う規約一部変更の件
 - (3) 事業所の脱退に伴う規約一部変更の件
 - (4) 予算項目間流用の件
- 会議事項
- (1) 保険料率変更の件
 - (2) 令和2年度(2020年度) 収入支出予算の件

健保は収入増から保険料率据え置き

2020年度の一般勘定(健保)は、一般保険料率と調整保険料率を合わせた保険料率が1000分の82に据え置かれました(左表)。高齢者納付金も17年度から総報酬割で負担増ですが、同年度から賞与額(一時金)も上がり保険料収入でカバーできています(下図)。

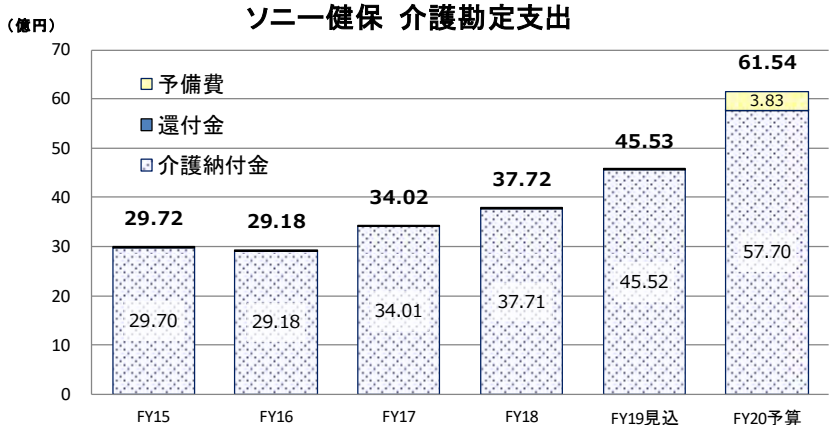
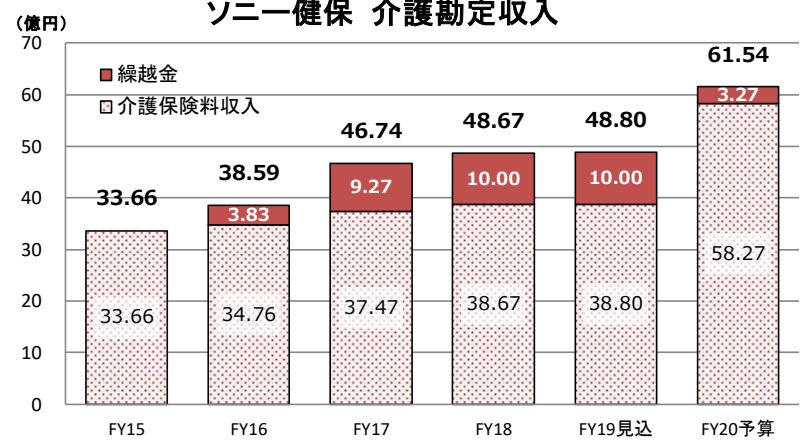
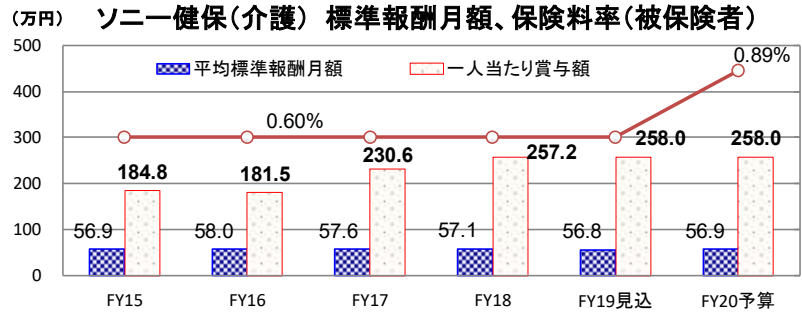
介護保険料率 段階的引上げ

介護保険は、高齢化社会の進展とともに介護を必要とする高齢者が急増し、大企業の健保組合の負担が増加しています。介護納付金は、加入者数に応じて健保組合が

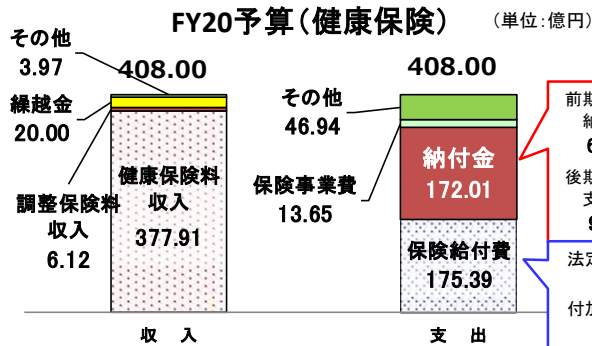
事業主が応分の負担を

雇用主と被保険者の負担割合は、健保が6対4、介護は折半です。ソニー労組推薦議員団は、進んだ欧州諸国のように7対3を要求しています。大幅な賃上げで保険料収入を安定化させ、乳がん検診の拡充や脳ドックなど保険事業の拡充、安心して働ける環境づくりが求められています。

| | 2019年度 | 2020年度 |
|----------|------------|------------|
| 健康保険料率 | 82.00/1000 | 82.00/1000 |
| 被保険者 40% | 32.80/1000 | 32.80/1000 |
| 事業主 60% | 49.20/1000 | 49.20/1000 |
| 介護保険料率 | 12.00/1000 | 17.80/1000 |
| 被保険者 50% | 6.00/1000 | 8.90/1000 |
| 事業主 50% | 6.00/1000 | 8.90/1000 |



| 加入者割 | 総報酬割 | 負担軽減 |
|------|------|-------------|
| 全面 | 1/2 | 1/4 |
| | 1/2 | 3/4 |
| | | 全面 |
| | | 時限措置による軽減あり |
| | | 軽減なし |



みなさん ご意見、ご要望をお寄せ下さい！

全日本電機・電子・情報
関連産業労働組合連合会
ソニー労働組合
https://www.so-union.org/
2020.03.10